

アイケア研究所レポート

Vol. 10

〔特集〕

眼の健康と視力を守る、夏の紫外線対策！

夏の紫外線対策は、肌だけでなく、眼においても非常に重要です。

しかし、眼への紫外線の影響や紫外線対策については、あまり知られていません。また、仕事ではサングラスや帽子は使えないから…などと対策に消極的な方も少なくないのが現状です。

今回は、眼の紫外線対策の重要性と、年代や生活シーンに応じた眼の紫外線対策をご紹介します。



インタビュー：特定業界の眼環境 アパレルデザイナー篇

視覚の確かさも重要な要素となるアパレルデザイナー、町田栄子さんの眼環境をうかがうと共に、新しいメガネを体験いただきました。



enrica デザイナー
町田栄子さん

アイケア意識調査：LINEアンケート

スポーツの時、メガネまたはコンタクトレンズに着替える？

おすすめ商品情報

99.9%UVカットで
大切な眼を紫外線から守る！
メガネスーパー『オリジナルサングラス』



「アイケア研究所」は、メガネスーパーが中心となり、約700万人の顧客と、医療従事者、眼はもとより健康全般に関わる企業と連携しながら、眼の健康寿命の延伸を目指して最先端のアイケアの提供に取り組んでいます。「アイケア研究所レポート」では、毎日に役立つアイケア情報を皆様にお届けします。

〔特集〕

眼の健康と視力を守る、夏の紫外線対策！

5月から7月は、とくに紫外線が増える季節。夏の紫外線対策は、眼においても非常に重要です。今回は、眼の紫外線対策の重要性と、年代や生活シーンに応じた眼の紫外線対策をご紹介します。

1 眼の紫外線対策は、なぜ重要なのか？

紫外線が、眼の老化を加速させる

紫外線が眼の老化を促進するといわれますが、今、特に注目されているのが「糖化」です。「糖化」というのは、糖分とたんぱく質が結合した物質が加熱（体温程度の温度でも反応が起こる）され、AGE（Advanced Glycation End Products）に変化する現象のことです。このAGEは、肌や髪、骨、眼などの全身の老化を促進するもので、動脈硬化、糖尿病、高血圧、がん、認知症などの原因のひとつとされています。

眼の場合は、紫外線の影響で水晶体のクリスタリンというたんぱく質にAGEが生じることがあります。そして、水晶体は一生代謝しないことから、AGEが溜まり続けてしまい、その結果、水晶体が衰えて眼の調節力が低下し「老眼」を促進してしまうことになるのです。



眼の疾病を引き起こす原因にも？

また、紫外線を浴び続けると眼の老化が進むだけでなく、眼の疾病にかかるリスクも高くなると言われています。通常は高齢者によく見られる眼の疾病ですが、若い世代でも戸外で活動する時間が長い人には見られることから、紫外線がその発症に関係すると考えられています。

紫外線角膜炎

強い紫外線が角膜に熱傷を起こして発症する急性の角膜炎。

<症状と治療>

結膜（白目）の充血や異物感、流涙、視力低下、頭痛。強い眼痛を起こすこともある。昼間に強い紫外線に曝露した場合、夜から深夜、または翌朝にかけて発症し、大抵は24～48時間以内で自然治癒するが、重症化に注意。

翼状片

白目の表面を覆っている結膜が、目頭から黒目に侵入してくる繊維状の増殖組織。

<症状と治療>

充血や異物感がある場合は点眼などの治療を行うが、瞳孔近くまで侵入してきた場合は視力障害をきたすため、手術を行う場合もある。通常は、30代～高齢者に見られるが、戸外での活動が長い若年層にも見られる。

白内障

日本人に多く見られる皮質白内障は、紫外線の曝露と関係があるとされる。眼球の水晶体が濁って視力が低下する。ひどくなると失明に至ることもある。

<症状と治療>

初期症状はないが、進行すると、眼がかすむ、ものが二重三重にだぶって見える、光が眩しく感じる。初期は点眼薬、進むと手術が必要になる。

加齢性黄斑変性

黄斑という組織が、加齢に伴って衰えることが原因だが、長期に渡って紫外線を眼に浴びた人に発症することが多い。ひどくなると失明に至ることもある。

<症状と治療>

視野の真ん中が見えにくくなる。ものがゆがんで見えたり、視界がぼやける。薬剤注射や光線力学的両方、レーザー光凝固術などの治療法がある。

このように紫外線の影響が考えられる眼の疾病は、視力低下や視力障害、失明の危険を伴うものもあります。かけがえのない眼と視力を守り、眼の健康寿命を長く保つために、眼の紫外線対策の重要性はますます注目されてきています。

2 子どもの頃から眼の紫外線対策が必要な理由

眼の成長期に紫外線が与える影響

子どもの視力は、生まれてから6～7年かけて、ものを見ることによって発達します。生後1～2ヶ月くらいまでは、動くものがやっと分かる程度。平均視力は、1歳で0.3、2歳で0.6、3歳で0.8、4～6歳で視力が1.0以上になり、6・7歳でほぼ眼の機能が完成します。成長過程にある子どもが紫外線の影響を受けると、大人以上に視力低下や視力障害、眼の疾病などのリスクが大きくなります。とくに近年では、わが国でも紫外線量が増えているため、ますます注意が必要です。

紫外線によるダメージは、生涯にわたって蓄積されていきます。とくに高校生くらいまでの間は、外での遊びや体育、遠足、部活など戶外活動が多く、「生涯浴びる紫外線の半数は18歳までに浴びる」といわれるほどです。WHO(世界保健機構)からは、子ども時代に浴びた紫外線は、眼のダメージはもちろん、日焼けによる後年の皮膚がんや免疫系の機能低下を引き起こす原因になるという発表もありました。子どもの頃からの紫外線対策は、今や世界的にも重要な課題といえます。



眼の成長段階



子どもは大人よりも紫外線を浴びる機会が多い

肌の日焼けとは異なり、紫外線による眼へのダメージは目視では分かりにくいもの。とくに小さな子どもは自分の症状を正確に伝えられず、小さな異常を見逃してしまいがちです。たとえば、眼がショボショボしたり、痛みや充血している様子が見られたら、「紫外線角膜炎」かもしれません。通常は1～2日で治まりますが、重症化する可能性もあるので油断は禁物です。瞳が白く濁る「白内障」や、白目が黄色く濁ったり血走ったりする「瞼裂斑」なども、中高年によく見られる眼の疾病ですが、長期の紫外線の蓄積によってかかりやすくなるので要注意です。

子どもたちが外出する機会、そして、紫外線に晒される機会は、大人よりもずっと多いのが現状です。とくに小さな子どもは、地面からの距離が近く、地表面で反射された紫外線の影響も受けやすくなります。肌の日焼け止めはもちろん、眼の紫外線対策も早くから始めることをおすすめします。



Check

赤ちゃんを紫外線から守るために

赤ちゃんは、ビタミンD不足にならないよう、適度な日差しを浴びることも効果的と考えられます。しかし、お肌も眼も紫外線による悪影響を受けやすいため、強い日光を長時間浴びることは禁物です。天気の良い日に赤ちゃんを散歩に連れて行くときは、強い日差しが直接赤ちゃんに当たらないよう工夫して外出しましょう。朝夕の涼しい時間帯に、薄い長袖を着せてあげ、帽子やベビーカーの日よけを利用するようにしましょう。乳児の場合は、紫外線の強い時間帯には外へ出さない、また覆いをするなどの工夫をすると良いでしょう。



適切な紫外線対策のために正確な情報を

子どもはもちろん大人にとっても適切な紫外線対策を行うためには、正確な知識や情報を得ることが大切です。例えば、気象庁のWEBサイトでは「UVインデックス」（UV指数）に基づいた「紫外線情報」が提供されており、紫外線が人体に及ぼす影響の度合いや、それに応じた対策を日々チェックすることができます。とくに小さな子どもを連れて出かけるときには、できるだけ紫外線の強い日や時間帯を避けるなど、紫外線の強さに応じた紫外線対策を行うための情報として有効です。

また、環境省のWEBサイトでは「紫外線環境保健マニュアル 2015」を掲載しています。この中には、紫外線に関するさまざまな知識をはじめ、UVインデックスに応じた紫外線対策の具体的な例が示されています。ぜひ参考にしてください。

■ 気象庁 | 紫外線情報分布図 <http://www.jma.go.jp/jp/uv/>

■ 環境省「紫外線環境保健マニュアル 2015」 <https://www.env.go.jp/chemi/matsugaisen2015/full.pdf>

UVインデックスで表される紫外線の強さ

1~2	弱	い	安心して戸外で過ごせます。
3~5	中程度	……	日中は出来るだけ日陰を利用しよう。 出来るだけ長袖シャツ、日焼け止め、帽子を利用しよう。
6~7	強	い	
8~10	非常に強い	……	日中の外出は出来るだけ控えよう。 必ず長袖シャツ、日焼け止め、帽子を利用しよう。
11+	極端に強い	……	

(WHO:Global solar UV Index-A practical guide-2002)

アイケアに重点を置いた子どもの紫外線対策

子どもに適した紫外線対策としては、

- ① UVカット加工のメガネやコンタクトレンズ、サングラスをする。
- ② UVカットの帽子や衣服を身に付ける。
- ③ 午前10時から午後2時の紫外線の強い時間帯の外出を控える。
(UVインデックスを指標とした紫外線情報も参考に)
- ④ 炎天下で長時間遊ばせない。
- ⑤ 紫外線の反射しやすいコンクリートの上は避け、芝生や土の上、木陰の多い所で遊ばせる。

…といったものが挙げられます。

とくにアイケアに重点を置いた紫外線対策としては、UVカット加工のメガネやサングラスをかけることが何より有効です。子どもにサングラス…と驚く方もいますが、オーストラリアでは、紫外線対策として小学生のサングラス装着が義務付けられているほどです。最近では、大人顔負けのおしゃれなサングラスや、活発なお子さま向けにラバーの滑り止めを採用したサングラスなど、お子さまの個性に合わせて選べるキッズサングラスが揃っています。また、片面だけでなく、両面にUVカット加工を施したメガネレンズもお選びいただけます。有害な紫外線から子どもを守るのは大切なことですが、むやみに外出を避けるのは良いことではありません。外で遊ぶ時間帯や場所に配慮し、紫外線対策をしっかりと行っただけで、子どもには外でのびのび運動したり遊んでほしいものです。



メガネスーパー・オリジナル キッズサングラス

UVカットレンズはもちろん、滑り止めを使用した安心のフィット感。



MSG82SK-3611 ブラック



MSG82SK-3611 ネイビー



MSG82SK-3611 ワイン×ベージュ

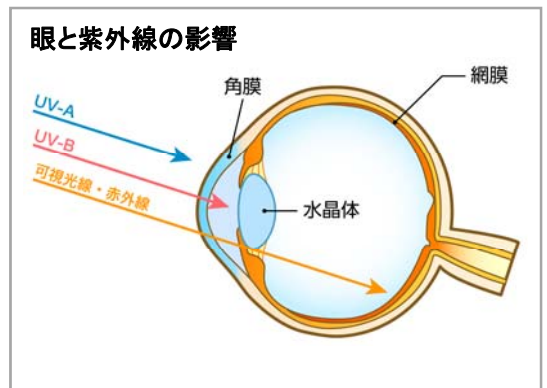
3 眼が日焼けすると肌が黒くなるという事実！

美容面でも眼の紫外線対策は重要だった

ご存知ですか？肌に日焼け止めクリームを塗っていても、眼が日焼けすると肌が黒くなってしまいます（大阪市立大医学部の研究調査による）。眼の日焼けは、目視では分かりにくいのですが、肌が紫外線で炎症を起こすのと同様、さまざまなトラブルの原因になります。

眼の角膜や水晶体などの組織は、本来、外から入ってくる紫外線を吸収し、眼を守る役割を果たします。しかし、多量の紫外線を浴びると、角膜が炎症を起こします。そして、そのダメージはストレスとして脳に伝達され、脳はストレスホルモンを分泌します。そこで脳は、紫外線をブロックするメラニンの必要を感じ、全身の皮膚にメラニン色素を生成するよう指令を出してしまうというのです。これでは、肌の紫外線対策は十分だったはずなのに、いつのまにか肌が黒くなっている…ということにもなりかねません。

美白を意識するなら、直接的な肌のケアだけではなく、紫外線ダメージから眼を守ることが必要不可欠です。眼が無防備なままでは、他の紫外線対策の効果も十分得られない可能性があります。眼の健康はもちろん、美容面から見ても、眼の紫外線対策は非常に重要なのです。



紫外線対策は、アンチエイジング（老化対策）

また、強い紫外線を浴びて眼が日焼けすると、眼が充血したり、眩しさを感じる、眼の渇きや異物感がある、ひどくなると強い眼痛を感じるといった紫外線角膜炎を発症することがあります。また、長期にわたって眼の水晶体に紫外線が蓄積されると、若年期から眼の老化が進むことによる視力低下や、通常は中高年がかかる白内障が発症しやすくなる可能性も高くなります。紫外線は、肌や眼などの「老化」を促進させる大きな原因のひとつです。紫外線から身を守ることは、アンチエイジング（老化対策）にもつながっています。



眼の日焼けを防ぐ最大の武器はサングラス

紫外線ダメージから眼を守るのに最も効果的なのは、UVカット効果のあるサングラスです。最近では、UVカットだけでなく、クルマの運転時やスポーツ時などに便利な調光レンズや偏光レンズなど、さまざまな機能を持ったレンズがあり、生活環境や用途に応じて選べます。

最近のサングラスはレンズの色も薄めで、フレームも女性らしいソフトなイメージのデザインが揃っており、サングラスが初めてという方でも抵抗なくかけていただけます。お近くのメガネスーパーにお気軽に相談ください。

トレンドのデザイン・カラーが充実した
メガネスーパー・オリジナル サングラス

MSG72S-2314 ブラウン

MSG73S-2123 パープルハーフ

MSG74S-2432 ブラウンハーフ

4 紫外線対策を怠りがちな男性も今年こそ始めよう！

男性は女性よりも紫外線ダメージが多い？

紫外線対策は、美白を気にする女性のためのもの。そんな印象を持つ男性は少なくありません。しかし、紫外線の影響がますます懸念されるようになり、男性も紫外線対策をしっかりと行うことが必要になってきました。

実は、外回りの営業やクルマの運転、工事現場などの屋外の仕事、また、アウトドアスポーツなどによって長時間の紫外線ダメージを受けている成人男性は非常に多いのです。ところが、日傘や帽子、日焼け止めなどの習慣がほとんどない男性は、いつも無防備な状態で紫外線に晒されています。

紫外線には、太陽から浴びる直接光をはじめ、大気中に散乱している散乱光、地表から反射される反射光があり、想像以上に紫外線を浴びているものです(右図)。日焼けしても気にしない、むしろ日焼けした男性は精悍な感じがして良い…などとお考えの方もおられるでしょう。でも、皮膚がんはもとより、老眼の促進による視力低下、白内障など眼の疾病、また、それに伴う失明のリスクも高まると聞けば、ちょっと気になりませんか？

ビジネスパーソンにとって健康管理は重要なミッションのひとつ。かけがえのない眼の健康と視力を守るために、今年こそ眼も含めた紫外線対策を始めましょう。

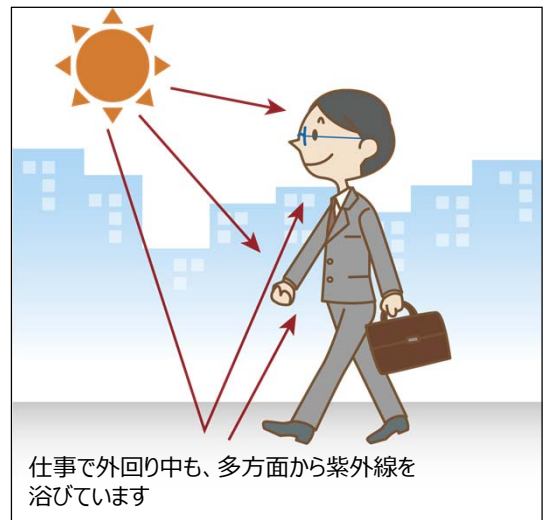
勤務中のサングラスはNGという方に

眼を紫外線ダメージから守る最大の武器は、やはり、サングラス！しかし勤務中の外回りでは、サングラスはかけられないという方も多いでしょう。そんな方には、UVカット効果のあるメガネレンズやコンタクトレンズをおすすめします。

通常、ほとんどのメガネレンズにはUVカットのコーティングが施されていますが、UVカットの他にも眼を保護する多機能を備えたメガネレンズがあります。

たとえば「b.u.i…ビュイ」は、透明なクリアレンズですがUVカット効果に加え、光の眩しさを和らげ、やさしい光だけを通すことによって鮮明な視野と眼の疲労の緩和に効果的なメガネレンズ。パソコンやスマホを多用する方におすすめです。また、UVカット効果のあるコンタクトレンズも増えてきています。このようなコンタクトレンズに、UVカットのサングラスを合わせれば、さらなる効果が期待できます。

また、サングラスに抵抗があるという方も、薄い色のレンズならかけやすい場合もあるでしょう。「紫外線透過率1.0%以下」という表示のレンズであれば、紫外線を99%以上カットすることができ、サングラスの効果はやはり見逃せません。カジュアルなデザインのものからスポーツタイプまで、フレームもレンズも用途に合わせて選べます。



両面にUVカット効果のある多機能メガネレンズ



UVカット効果のあるコンタクトレンズもオススメ！



5 夏に向けてUVカットサングラスやメガネを新調しよう！

UVカットサングラスは信頼できる品質のものを

紫外線から眼を守るために、一番有効なのはサングラス！WHO（世界保健機構）においても「UVカット機能を持ったメガネやサングラスの着用で、眼への影響は90%減少する」と、UVカットサングラスの使用が推奨されており、世界レベルでサングラスの有用性が認められてきています。サングラスを選ぶ時は、十分な大きさがあり、顔の骨格にフィットすることや紫外線の吸収率が大切。信頼できるメガネ専門店と相談することをおすすめします。また、UVカットサングラスと帽子や日傘との併用でさらに効果アップが期待できます。最近では、男性向けのシンプルなデザインの日傘や晴雨兼用のUVカット傘も人気上昇中！男性の紫外線対策への意識も今後さらに高まっていくことが期待されます。

サングラス選びのポイント①

可視光線透過率！

0～100%で表される可視光線透過率は、用途や使用する環境に応じて選ぶのがポイントです。可視光線透過率の低いものは色が濃くなるため、眩しさを防ぐ度合いが強くなる代わりに視界が暗くなります。車の運転時などは、可視光線透過率80%以上は必要です。

サングラス選びのポイント②

レンズの色選び！

サングラスのレンズは、保護レベルによってグレードが分けられています。イエローやグリーン系の保護クラスは0～2、グレーやブラウンの保護クラスは3など。メガネ専門店と相談し、季節や用途に合わせてレンズの色を選びましょう。



サングラス選びのポイント③

フレームも大切！

紫外線はフレームのすき間からも入ってくるため、サングラスのフレームはある程度の大きさと、すき間をできるだけ作らず、ズレにくいフィット感が必要。仕事用やスポーツ用など用途に合わせて選ぶことも大切です。



紫外線対策の度付きサングラスやメガネを新調する際の店選び

とくに度付きのサングラスや紫外線対策のメガネを新調する際は、正確な検査やフィッティング、信頼できるアフターフォローのある専門店を選ぶことが大切です。

メガネスーパーでは、通常の視力のもとより、年代や用途に応じた視距離や眼の状態に至る総合的な検査を行う「トータルアイ検査」をはじめ、専門スタッフによる設計や調整、フィッティングなど、アイケアの観点から高品質のメガネづくりを進めています。

また、メガネスーパーでは、購入いただいた商品の見え方・品質・破損について、最大1年間のワイドな保証を行う「HYPER保証システム」、そして、わずかな追加料金で、3年間完全保証に対応する「HYPER保証プレミアム」によって、アフターサービスの充実にも力を注いでいます。

紫外線対策のサングラス、メガネ、コンタクトレンズのご相談は、メガネスーパーに是非お越しください。



HYPER保証システム

見え方 HYPER 保証

6ヶ月以内なら何度でも度数変更は無料！1年以内は半額！

品質 HYPER 保証

正常使用で品質に問題があった場合は1年以内なら無料で交換！

破損 HYPER 保証

事故・火災での破損は1年以内なら何度でも通常価格の半額で交換！

※プレミアム保証は、わずかな追加料金で、3年間完全保証！3年間保証を使わなかった場合はメガネスーパーのポイントに交換OK!

業界特有の眼環境と新しいメガネ体験:アパレルデザイナー編

今回は、微妙に変化する素材の色や質感などで視覚の確かさも重要な要素となるアパレルデザイナー、町田栄子さんの眼環境をうかがうと共に、新しいメガネを体験いただきました。

メガネをかけていても眼を凝らさないとよく見えなかったのが、力を入れなくてもよく見えて展示会前の忙しい時期の疲労も軽減しました。



enrica (エンリカ) デザイナー
町田 栄子さん (1971年生まれ)

もともと遺伝子が専門分野で、環境系の会社に就職。その後、退職して1998年に渡仏。パリでファッションを学ぶと共にアーティスト活動を開始。10年以上にわたるパリ生活を経て帰国。2015年、シルクやコットンなどの自然素材、日本の草木染など100%天然染料にこだわった自身のブランド「enrica」を立ち上げ、オーナー兼デザイナーとして仕事に取り組み。国内から欧米までコレクションを展開。

■今回のメガネ

レンズ：“MEKARA…メカラ”の近くがラクに見える単焦点レンズ
フレーム：“VICTOR&ROLF…ヴィクター&ロルフ”
(カラー：02 ブラウンゴールド)

Q. メガネまたはコンタクトレンズ使用はいつから？

小学校に上がる前くらいにコンタクトレンズを使ったのが初めてですね。私は左右の視力が全然違って、左眼が遠視×乱視で視力が2.0、右眼が近視×乱視で視力が1.0程度だったんです。当時、右眼だけに視力矯正用ハードコンタクトレンズを入れていたのですが、それが痛くて…。親には失くしたと言って、よくコンタクトレンズを捨ててました(笑)。そのうち親も「これはいけない」とメガネに代えてくれましたけれどね。

Q. 左右の視力がそれだけ違うと、仕事にも影響が？

眼は疲れやすいですね。構想段階では、資料を集め、イメージ画を描いたり。アイデアが固まったら、生地を選んだり、パターンと打ち合わせしてパターン、サンプル制作と進行する過程で、とくに近くを見る作業が多いと思います。以前のメガネは、眼を凝らさないとよく見えないので、よけいに眼が疲れていたのかもしれませんが。とくに展示会前は、徹夜仕事になることもあるのでけっこう大変です。エージェントを経由してパリやニューヨークでも展示会をするので、自分の意思をうまく伝えるために英文で資料を作ったり、メールのやりとりをしたり、事務的な細かい作業も意外に多いんです。パソコンでの作業も3~4時間に及びますね。

Q. 新しいメガネの使い心地、見え心地は？

左眼に、今まで入っていなかった乱視用のレンズも入ったので最初は少し違和感がありましたが、慣れるとすごく見やすくなりました。力を入れなくてもよく見えてラクなので、以前のメガネの時より眼の疲れや肩こりなども軽減したと思います。フレームも軽くて、とても良い感じです。線が細く繊細なデザインなので、顔の印象も優しくなった気がします。



コレクション準備期間は、徹夜仕事になることも

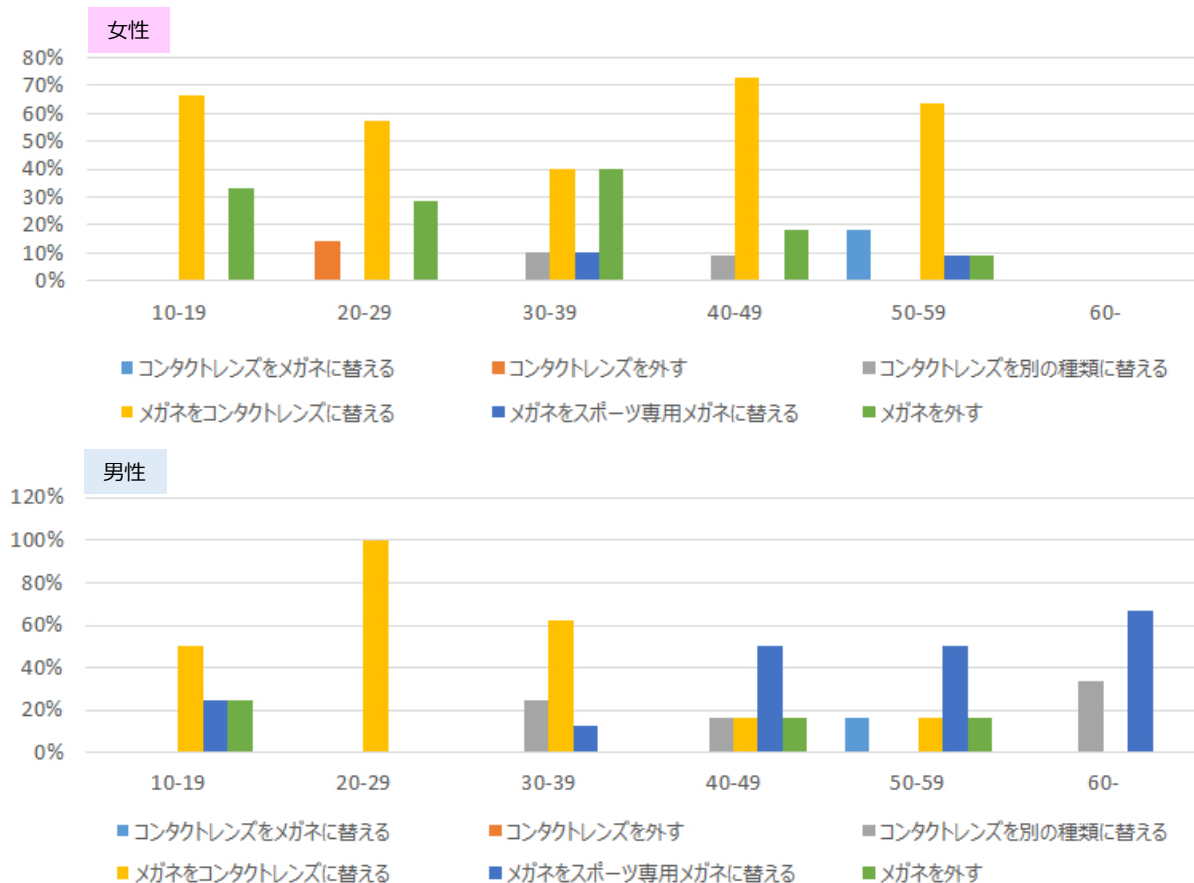


パソコンの使用時間も1日3~4時間と長い

アイケア意識調査:LINEアンケート

スポーツをする時は、メガネからコンタクトレンズに替える方、メガネを外して裸眼のままの方、コンタクトレンズからメガネに替える方…。あなたは、どのタイプでしょうか。LINEアンケートの回答から、その理由と傾向が見えてきました。

スポーツの時、 メガネまたはコンタクトレンズに着替える？



調査日：2016年4月16日 調査方法：メガネスーパーLINE公式アカウントによるアンケート N数：248名

今回、LINEアンケートに協力いただいた男性の方々はメガネのみの使用率が70%、女性の方々はメガネとほぼ同率でコンタクトレンズを使用していました。そのうえで「スポーツ時に通常使用しているメガネあるいはコンタクトレンズを他のものに替えますか?」とうかがったところ、男女共に70%が「YES」と回答しています。そして、「スポーツの時に替えるのは?」という問いには、女性は「メガネをコンタクトレンズに替える」という回答が圧倒的。男性は10~30代までは、女性と同様に「メガネをコンタクトレンズに替える」の回答数が多いものの、40代以上は「メガネをスポーツ専用のメガネに替える」という回答が多くなっていることが分かります（上のグラフ参照）。

これは、この年代の男性が老眼世代であること、また、ゴルフ世代でもあることから、近くから遠くまで眼のピント調節機能をサポートしてくれる累進レンズで、なおかつ、眼への紫外線の侵入をしっかりと防ぎ、激しい動きにも耐えられるスポーツ専用メガネを選択されていることが考えられます。夏の太陽の下、スポーツする際は男性はもちろん、女性においても、スポーツ専用メガネをかけることが、アイケアの観点からもおすすめです。

おすすめ商品情報

99.9%UVカットで、大切な眼を紫外線から守る！ メガネスーパー『オリジナルサングラス』が好評！

2016年ニューモデル登場！通勤時からレジャー、スポーツ用まで充実のラインナップです。

メガネのプロが徹底的にこだわったスーパーフィットサングラスを実現!!

オリジナルサングラスコレクション
Original Sunglasses Collection

最新のトレンドからスポーツまで、様々なシーンに合わせた充実のラインナップ！

UVカット 400
紫外線を99.9%カットします

メガネスーパーは、1000万人以上のお客様から得たノウハウを生かし、抜群の装着感とかけ心地を実現した『オリジナルサングラス』に、2016年ニューモデル5型をプラスしました。只今、全国のグループ各店舗にて好評発売中です。

2016年モデルとしては、「ファッションタイプ（ユニセックス）」2型、「レディース・ファッションタイプ」1型、「メンズ・ベーシックタイプ」1型、「スポーツサングラス（ユニセックス）」1型をラインナップ。最新トレンドを意識したものからスポーツタイプまで、バリエーション豊富なデザインで展開しています。2016年の新モデルはもちろん、全モデルが度付きレンズ対応可能。UVカット率99.9%のレンズで、大切な眼を紫外線からしっかりと守ります。また、既存品では不可能なメガネ専門店ならではのフィッティング対応により、それぞれのお顔に適した装着感・かけ心地を実現し、お出かけやスポーツ時にも快適にご利用いただけるサングラスを提供します。

UVプロテクト機能を搭載した新商品 「ロート1dayフレッシュビュー[®]」もおすすめ！

紫外線吸収剤配合で、UV-B波を95%以上、UV-A波を70%以上カットします。

※UV吸収剤を配合したコンタクトレンズは、UV吸収サングラスなどの代わりにはなりません。

「ロート1dayフレッシュビュー」は、目薬を発売して106年のロート製薬が、毎日の心地よい装着感にこだわったソフトコンタクトレンズです。紫外線をしっかりカットするUVプロテクト機能で、特にこれからの季節の外出時におすすめです。ヒトの角膜に沿ったなめらかなレンズ形状で、目にやさしくフィットしてうるおい感が続きます。



承認番号：2700BZI00009000

アイケアカンパニー宣言！

「ニュースレターに関するお問合せ先」

商品の貸し出しをはじめ、眼やメガネに関する取材などのご要望がございましたら是非ご相談ください。



株式会社メガネスーパー
広報担当：中村 (n.nakamura@meganesuper.com)
神奈川県小田原市本町四丁目2番39号
TEL 0465-24-3836 FAX 0465-24-3610